

# 工事現場で淡水化

## ワイズ社、ゼネコンと提携

海水淡水化装置を開発・販売するワイズグローバルビジョン（うるま市、柳瀬善史社長）は、工事現場で同装置を使い建設会社の水の調達を容易にする取り組みを進める。中堅ゼネコンやものづくり系

ベンチャーファンドから増資しており、装置の開発、普及を進める。

同社は2月27日、ゼネコン大手の戸田建設（東京都、今井雅則社長）を引受先とする第三者割当増資を実施した。

ワイズ社の装置を使えば工事現場近くの海や川から水が調達できる。まずは戸田建設の工事現場でノウハウを磨き、同社以外の工事現場での装置

利用を提案していく考え。

ものづくりを支援するベンチャーファンド「MBC試作ファンド」を運営するDar ma Tech Labs（ダルマテックラボ、京都市、牧野成将社長）からも出資を受けた。装置の量産化へ技術面の助言を受ける。

ワイズ社は、3年以内の株式上場を目指すという。